

## 2005年I S A F年次会議報告

国際委員会  
委員 柴沼克己

### ハーネスの素早い開放(Quick Release Harness)と現行競技規則について

(現行規則)

#### 40 個人用浮力体；ハーネス

40.2 トラピース・ハーネスまたはハイキング・ハーネスには、使用中いつでも、艇から競技者を素早く解放することができる装置がついていなければならない。

*注記：この規則は、2006年1月1日より施行される*

#### I S A F 11 月年次会議決定

上記「注記」については、2006年を2009年とする。この規則は直ちに発効する。

I S A Fは、各国協会、各クラス協会等へこの規則の施行時期が延期されたことを通告する際、安全に係る問題点・安全教育の教材を含む情報について公表する。

##### 1. 延期された理由

競技規則 40.2 の表現は、解釈と実施について問題を引き起こすのでその意図する目的からして適切でない。

##### 2. 論議された内容

安全に関する事項を、競技規則で取り扱うのは適切ではない。別途（外洋艇に適用しているような）安全規則又は付則のような形で設けたらどうかとか、クラス規則で規定させるのはどうか。

本規則については、競技規則の専門家だけでなく技術上の規則の専門家が論議すべし（競技規則委員会、装備委員会並びにセーリング委員会）。

この規則制定/実施に関連して、I S A Fの法的な責任はどうなるのか。

I S A Fは、小型艇の乗員にハーネス、フックの装備使用について大きなリスクがあることを教育し、転覆をしてハーネスがすぐ外れないようなことがないようにするため、正しい服装・装備・艇の整備・乗員の動作を含めて危険を最小化にし、より「安全」な装備の使用を強く勧める。

各国協会を通して、ハーネスを使用する多くの小型艇（レースをするしないに関わらず）の役に立つ安全に関する忠告を広める。

製品の開発、商品化、提供（製造）能力並びに購入能力等に関する課題

## 2008 年オリンピック競技会の大会方式について

- \* 競技形式 (Regatta Format)
  - 全 11 レースを行う (49er クラスは 16 レース)。メダルレース (Medal Race / 最後の決勝の 1 レース) は、10 レース (49er クラスは 15 レース) が終了していなくても、各クラスの表彰式が予定されている日に行われる。
  - メダルレースには、10 レースが終了した段階の上位 10 艇にて行われ、その 10 艇は、メダルレースでレースしなければならない。
  - メダルレースでは、海上審判が用いられる。
  - この形式は、2008 年オリンピックの全てのテスト大会 (Test Events) で適用される。
- \* 得点方式 (Scoring System)
  - シリーズの一番悪い成績をカットできる。ただし、メダルレースはカットできない。
  - 競技者は、メダルレースへシリーズの得点を持ち上げる (カットしたレースを除く)。
  - メダルレースの得点は、2 倍 (例、1 位 : 2 点、2 位 : 4 点、以下同じ) とする。前に行われたシリーズの得点と併せて順位が決まる。
  - メダルレース後の得点がタイとなった場合は、メダルレースにおけるフィニッシュの順位による。
  - メダルレースができなかった場合は、前に行われたシリーズの得点に基づくものとする。
- \* 2008 年オリンピック競技会と全てのオリンピック予選競技会に適用される。
- \* 海岸に近い場所で行われる (見学者と TV 放送のため)。
- \* ISAF はこのための運営並びに海上審判の教育・訓練を行う。